

未来型図書館に関するアンケート調査結果の概要

1. 回答者の属性

①年 齢 (n=1,543)

～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
898	106	68	191	144	86	42	8
58.2%	6.9%	4.4%	12.4%	9.3%	5.6%	2.7%	0.5%

○20歳未満が約58%, 20歳代が約7%と若い世代が約65%を占め、次いで、40歳代・50歳代が各10%前後となっている。

②職 業 (n=1,543)

高校生	大学生	会社員	公務員	教職員	自営業	パート アルバイト	主婦・ 主夫	無職	その他
835	116	148	62	73	46	108	68	47	40
54.1%	7.5%	9.6%	4.0%	4.7%	3.0%	7.0%	4.4%	3.0%	2.6%

○高校生が約54%, 大学生が約8%と学生が約62%を占めている。

③住 所 (n=1,543)

小松市	加賀市	能美市	川北町	白山市	その他県内	県外
1,042	154	204	11	68	43	21
67.5%	10.0%	13.2%	0.7%	4.4%	2.8%	1.4%

○小松市が約68%のほか、加賀市・能美市・川北町・白山市を含めた加賀地域で約96%を占めている。

2. 現在の小松市立図書館の利用

①利用頻度 (n=1,543)

ほぼ毎日	1週間に 1回以上	2週間に 1回程度	1ヶ月に 1回程度	1年に 数回程度	はじめて	一度も利用 していない
7	53	128	74	474	23	784
0.5%	3.4%	8.3%	4.8%	30.7%	1.5%	50.8%

○利用経験のない回答者が約51%を占める。1年に数回程度の回答者が約31%, 1ヶ月に1回以上の定期的利用者は約17%を占める。

②主に利用する図書館

(n = 759)

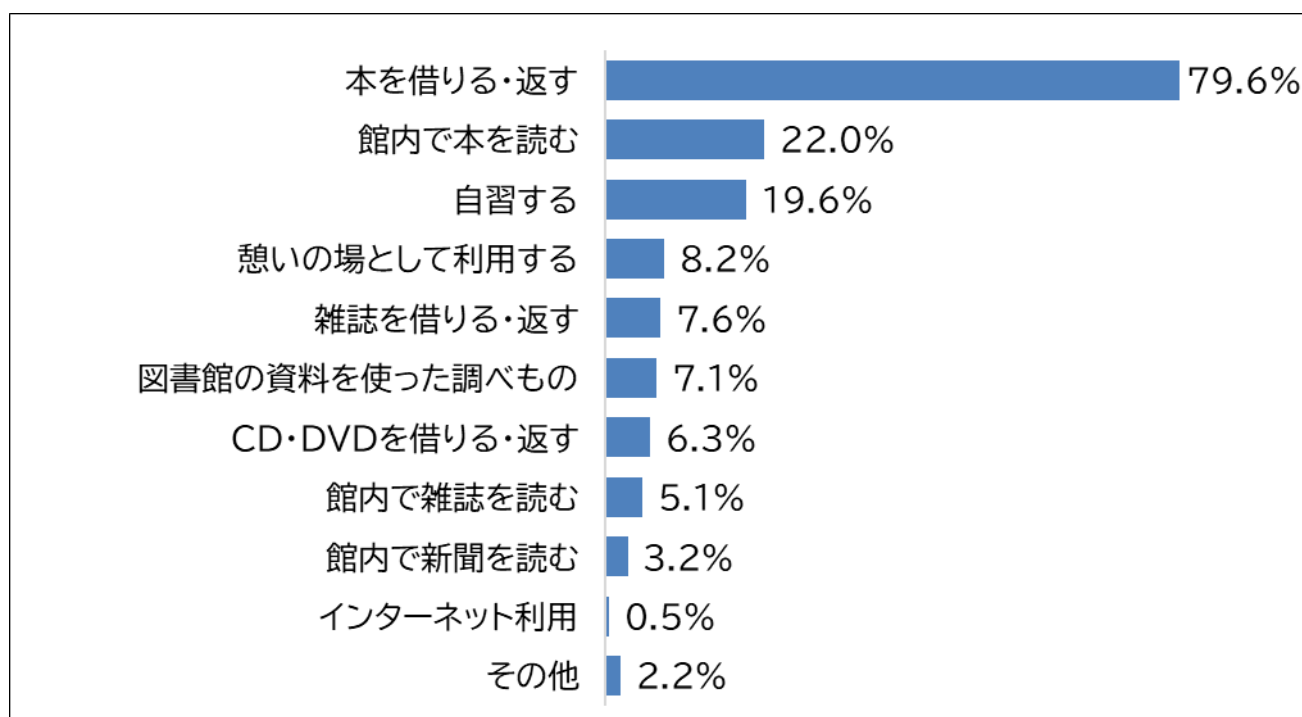
小松市立図書館(本館)	南部図書館	空とこども絵本館
630	90	39
83.0%	11.9%	5.1%

○小松市立図書館（本館）が83%と高い。

③利用目的(複数回答)

(n = 759)

本を 借りる・返す	雑誌を 借りる・返す	CDを 借りる・返す	館内で 本を読む	館内で 雑誌を読む	館内で 新聞を読む
604	58	48	167	39	24
インターネット 利用	自習する	憩いの場として 利用する	図書館の資料を 使った調べもの	その他	
4	149	62	54	17	



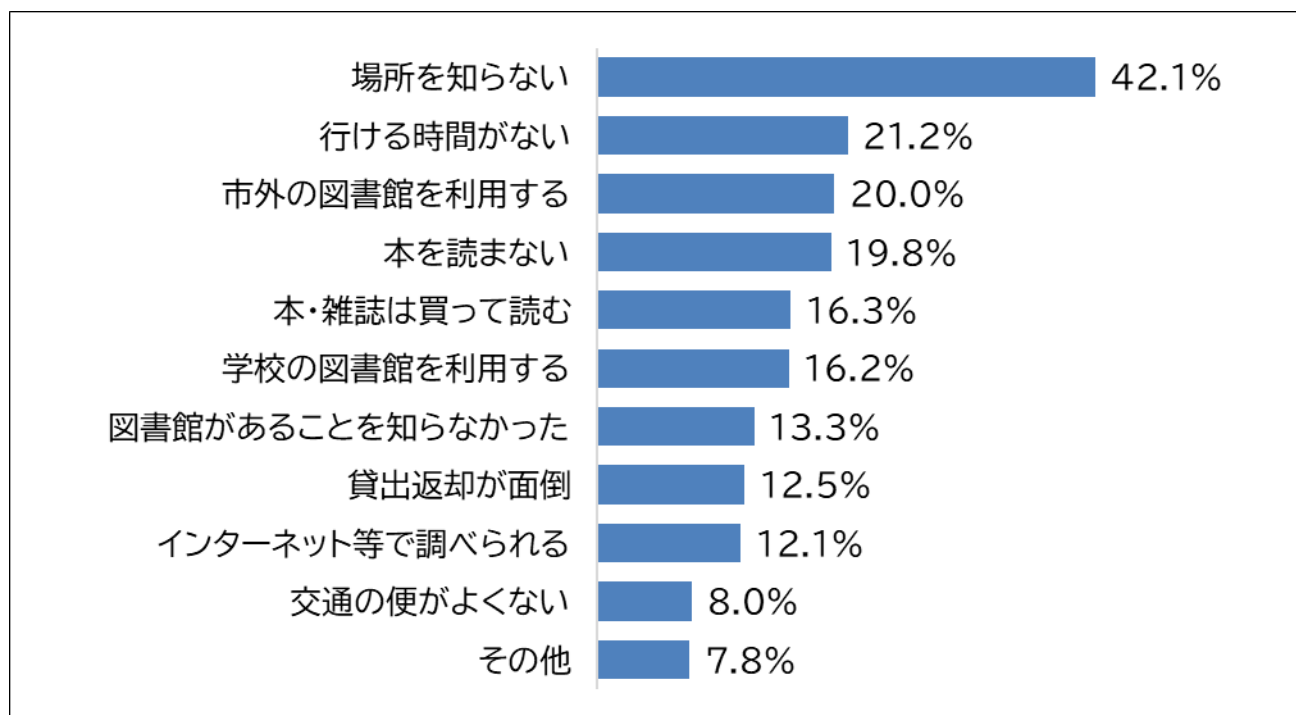
○本を借りたり返したりする際の利用が約80%と最も多く、次いで、館内で本を読む、自習の利用が各20%前後となっている。

○その他の利用としては、ボランティア、講演会などの行事の時に利用、夏休みの読書感想文を書く際の利用などとなっている。

④一度も利用していない理由(複数回答)

(n = 784)

場所を知らない	本を読まない	交通の便が よくない	本・雑誌は 買って読む	貸出返却 が面倒	行ける 時間がない
330	155	63	128	98	166
インターネットで 調べられる	市外の図書館を 利用する	学校の図書館を 利用する	図書館があることを 知らなかった	その他	
95	157	127	104	61	



○場所を知らないために利用しない回答者が最も多く、次いで、行ける時間がない、市外の図書館を利用する、本を読まないとなっている。

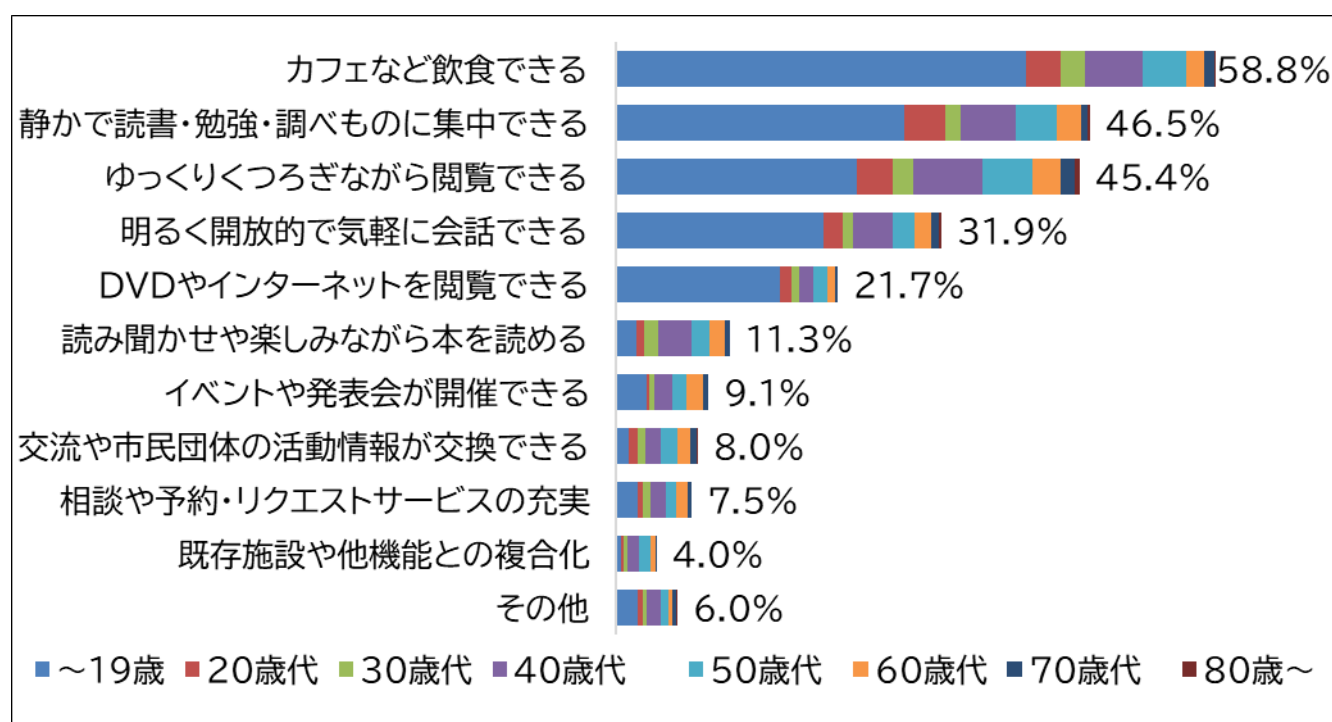
○その他の理由としては、図書館がある場所に行きにくい、自宅から遠い、施設が古く蔵書・新刊が少ないなどとなっている。

3. 未来型図書館のあり方

①あると良い機能やサービス(複数回答)

(n=1,543)

	～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～	計
明るく開放的で気軽に会話できる	315	28	17	60	33	25	10	4	492
ゆっくりくつろぎながら閲覧できる	365	54	31	104	77	42	22	6	701
静かで読書・勉強・調べものに集中できる	436	63	23	84	62	35	10	4	717
読み聞かせや楽しみながら本が読める	32	11	21	51	28	22	9	0	174
カフェなど飲食ができるスペースがある	621	52	37	86	67	26	16	3	908
イベントや発表会が開催できる	47	5	7	28	21	25	7	0	140
交流や市民団体の活動情報が交換できる	21	12	13	23	24	20	10	1	124
DVDやインターネットを閲覧できる	249	18	10	22	22	11	3	0	335
相談や予約・リクエストサービスの充実	33	8	12	24	14	18	6	0	115
既存施設や多機能との複合化	8	4	7	17	17	8	1	0	62
その他	33	8	7	21	11	7	5	1	93



○カフェなどの飲食スペースが約59%の回答者に選択されているほか、静かで読書・勉強・調べものに集中できる、ゆっくりとくつろぎながら閲覧できる機能が各45%程度となっている。

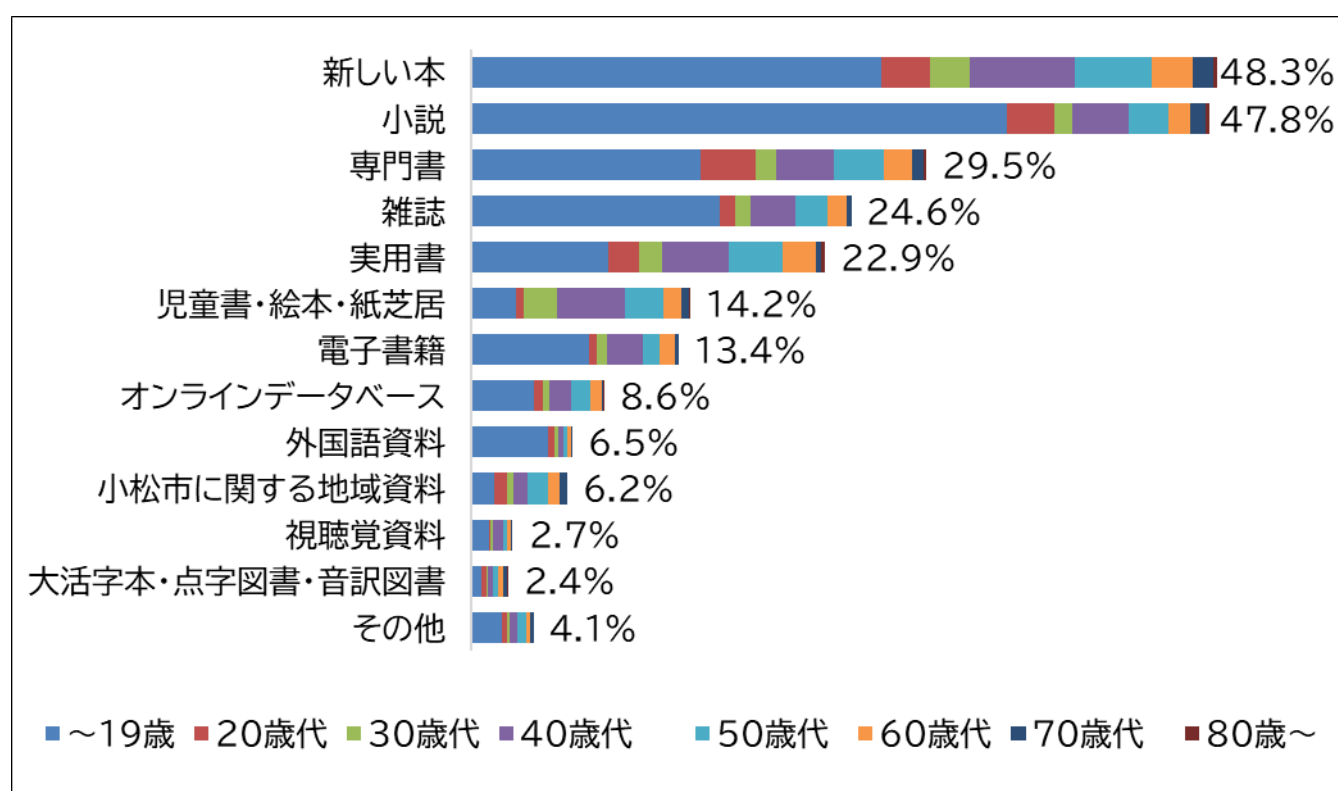
○既存施設や多機能との複合化については、学習センターや公民館の生涯学習施設、文化ホールや博物館、美術館、科学館などの文化・交流施設、児童館・子育てセンター、商業施設・スポーツ施設など多岐にわたっている。

○その他については、コロナ禍でも安心して利用できる、シェアオフィスなどとなっている。

②充実してほしい資料(複数回答)

(n=1,543)

	～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～	計
実用書	137	30	24	66	54	33	6	4	354
小説	536	47	18	56	40	22	15	4	738
新しい本	410	49	40	105	77	40	21	4	746
専門書	229	55	21	58	50	28	11	3	455
児童書・絵本・紙芝居	44	8	34	68	38	18	8	1	219
小松市に関する地域資料	23	13	6	14	20	12	8	0	96
雑誌	249	15	15	45	32	19	5	0	380
視聴覚資料	17	2	2	11	3	4	2	0	41
外国語資料	76	7	4	5	4	4	1	0	101
オンラインデータベース	63	9	6	22	19	12	1	1	133
電子書籍	117	8	10	36	17	15	4	0	207
大活字本・点字図書・音訳図書	10	5	1	5	6	5	4	1	37
その他	30	6	2	8	9	3	5	0	63



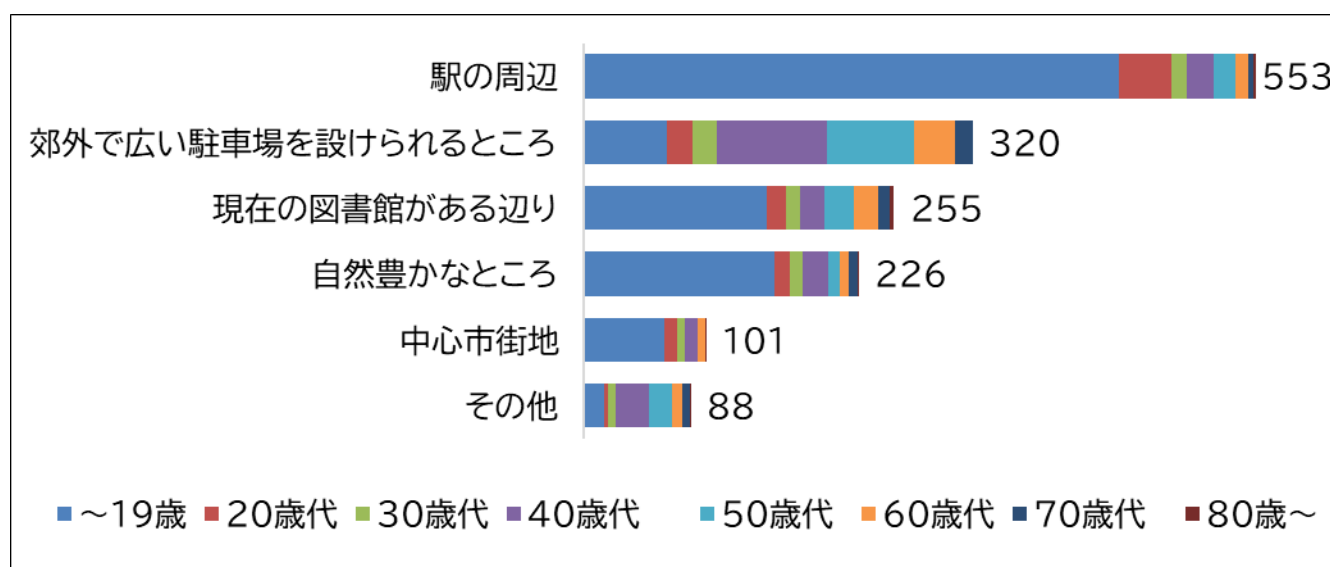
○新しい本や小説が各50%近く、多くの回答者に選択されている。次いで、専門書、雑誌、実用書の充実となっている。

○その他については、歴史的な評価の高い内外の古典資料、絶版になった書籍、問題集、漫画などとなっている。

③立地場所

(n=1,543)

	～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～	計
現在の図書館(本館)がある辺り	150	16	12	20	24	20	10	3	255
駅の周辺	440	43	13	22	18	11	4	2	553
中心市街地	66	11	6	10	1	6	0	1	101
郊外で広い駐車場を設けられるところ	68	21	20	91	72	33	15	0	320
自然豊かなところ	157	12	11	21	10	7	7	1	226
その他	17	3	6	27	19	9	6	1	88



○20歳未満及び20歳代では、駅の周辺の割合が高い。30歳代以降では、郊外で広い駐車場を設けられるところの割合が高くなっている。次いで、現在の図書館がある辺り、自然豊かなところとなっている。

○その他については、駐車場が豊富で中高生が通える範囲や、中山間地域の人も行きやすい場所、大学などと一体あるいは隣接するとよいなどとなっている。

④未来型図書館について思っていることや伝えたいこと(自由記載) ※一部抜粋・補足

A)役割について

読書活動推進	<u>○読書推進</u> ・子どもたちが本に興味を持ってくれる身近な図書館であってほしい。 <u>○知の拠点</u> ・市民の未知の知識を広げ、文化レベルが向上するよう、知の宝庫となっ てほしい。
交流・憩いの場	<u>○交流の創出</u> ・地域の人と人の交流の場として充実してほしい。 ・3世代が一緒に楽しく1日を過ごせる施設であってほしい。 ・人やモノ・ことがらなどいろいろな出会いがあり、まちづくりの拠点とな ってほしい。 <u>○憩いの提供</u> ・訪れやすく、いろいろな目的で気軽に利用でき、くつろげる憩いの場。 ・子どもや高齢者、障がいのある方、外国籍の方など誰もが気軽に利用し やすい場。
学び・生きがい づくり	<u>○学び</u> ・子どもたちがのびのび成長できる学びの場としてのコンセプトを盛り込 んでほしい。 ・生涯学習や大学図書館の役割も担ってほしい。 <u>○生きがい</u> ・何歳になっても学びができる場所に。
新たな価値の創 出	<u>○文化・価値の創出</u> ・人が集い新たな可能性が膨らむ、時代に役に立つ図書館に。 ・文化や新たなコミュニティの拠点として地域に親しまれるものに。 ・脱炭素やプラスチックゼロなど持続可能(サステナブル)な未来を率先し て実行し情報発信できる場に。
居場所づくり	<u>○居場所づくり</u> ・家庭や学校以外で、学生が自由に行ける心の拠り所に。 ・ひきこもりなど社会参加が難しい人のまちの居場所としての役割も。 <u>○つながりの場</u> ・子どもたちの横のつながりが生まれる場に。 ・まちじゅうに本と触れあえる場所が必要で、それらをつなぐ役割も。
防災	・災害など非常時の拠点や情報発信の場に

B)蔵書について

蔵書数・蔵書の選定	<u>○蔵書数</u> ・蔵書数を増やしてほしい(人口規模に対して蔵書数が少ない)。 <u>○蔵書の選定</u> ・多種多様なたくさんの本を揃えてほしい。 ・新刊や流行, 話題の本や子どもたちが読みたい本の充実を。
蔵書の種別	<u>○専門書・実用書</u> ・大学での調べものに必要な医学書や看護の専門書を充実してほしい。 ・ビジネス書や図鑑・写真集を多く置いてほしい。 <u>○郷土資料</u> ・石川県や小松市の歴史・文化を学べるように歴史の本を増やしてほしい。 ・郷土の偉人に関するコレクション資料を充実してほしい。 ・地域資料の収集をしっかりと行ってほしい。 <u>○小説・雑誌等</u> ・若い人に人気のあるライトノベルなどの充実を。 ・人気の漫画や雑誌の充実も。 <u>○視聴覚資料</u> ・DVDやCDを充実してほしい。 <u>○データベース</u> ・過去の文献の蓄積と活用が重要。 ・新聞の種類と新聞記事のデータベースの充実。 <u>○電子書籍</u> ・コロナ禍でもあり, 電子書籍サービスを導入してほしい。将来は電子書籍がさらに普及すると思う。子どもだけでもアクセスできる仕組みを作してほしい。
展示・配架	<u>○展示</u> ・蔵書検索が簡単で, すぐに見つけられるように。 ・子どもでも探しやすいように(現図書館は本が探しにくい)。 ・どの分類の本がどこにあるのか, 分類番号以外でも図や表にして分かりやすく。 <u>○配架</u> ・開架式の部分を増やしてほしい。書庫に入っている本が多い。 ・保存・整理のためのバックヤードを十分に確保する。

C)機能・サービスについて

貸出・返却	<u>○貸出</u> ・公立小松大学の附属図書館との蔵書の共有や相互貸借システムの導入など機能連携を。 ・他の自治体の公共図書館との連携, 図書カードの共通化 ・図書館から遠い山間部で要望がある地域に移動図書館車の巡回を。 ・図書館に行けない人のために本をインターネットで申込し, 自宅に届くサービスがあるとよい。 <u>○返却</u> ・返却場所(ボックス)を市内数カ所に設置し利便性を高めてほしい。
ICT活用	<u>○図書館全体</u> ・図書のインデックスがホームページなどで閲覧できるように。バーチャル図書館のような機能があると便利。 ・貸出を含め館全体の電子化・オンライン化を進めるべき。 <u>○館内設備</u> ・タブレット端末やパソコンを設置し, 電子書籍や論文が読めるとよい。 ・図書館の利用カードを電子化してほしい。 ・おすすめ本の紹介も行えるAIのインフォメーション機能を。
行事・イベント	・普段, 本を読まない方も気軽に立ち寄れるようなイベントがあるとよい。 ・子どもが本を読むことに興味を持てる催し物をしてほしい。 ・講座やワークショップや体験教室を増やしてほしい。図書を読み, すぐ身近で動植物や環境のフィールドワークができる学びなど。
広報・情報発信	<u>○本の紹介</u> ・本の要約情報を発信し, 興味を持たせる工夫を。 ・市民がおすすめ本を紹介できるように。 <u>○社会情勢や市民活動の情報提供</u> ・重要なテーマ(SDGs・環境など)に関する情報の充実。 ・子育てや住宅などの生活支援に関する情報や, スポーツ・趣味等で活動している団体・サークルの紹介。
読書支援	<u>○ボランティア活動支援</u> ・読み聞かせなどのボランティアグループの活動や人材育成支援の充実。 <u>○読書推進</u> ・読書会グループの活動支援など。
その他	・発想力や企画力が大事であるが, 様々な機能を入れすぎて中途半端にならないよう検討してほしい。

D)施設・設備等について

全体	<u>○空間・雰囲気</u> ・陽射しを取り入れ, 明るく, 開放的で, こちよい空間に。 ・広くて, 落ち着きがあり, 小松産の木のぬくもりを感じられる空間に。 ・緑や外の景色が見え, 館の外にも寝転がれる芝生やベンチなどの読書スペースがあるとよい。 ・子どもも大人も楽しめる空間, 利用しやすい雰囲気づくりを。(現在の図書館は静寂な雰囲気で気を遣う) ・館内に美術品を展示すると雰囲気がよくなる。 <u>○ユニバーサルデザイン</u> ・障がいのある方が利用しやすいよう, バリアフリーの環境。 ・外国籍の方も利用しやすい環境(多言語表記など)。 <u>○建築・デザイン</u> ・みんなが行ってみたいと好奇心がわき, 集客や観光にもつながるよう, 外観のデザインにもこだわりを。 ・再生可能エネルギーを導入するとともに, 学習できるように。
エリア・席	<u>○エリア・席の増設</u> ・蔵書エリア, 本棚と本棚の間隔を広くし, 混雑しない動線づくり。 ・ゆっくりと読書・自習ができるようにスペース・座席数を増やしてほしい。 ・リモートワークにも対応し自習スペースを幅広い世代が利用しやすく。 ・映画の上映やDVDを閲覧できるスペースを。 ・市民や団体が気軽に展示やイベントが開催できるように, ギャラリーや多目的ルームがあるとよい。 ・畳などくつろげるスペースや健康づくりや体操ができるスペースを。 <u>○エリアの区分</u> ・会話を楽しめる空間や飲食可能な空間と, 静かに閲覧・学習できる空間を分けてほしい。エリアごとに機能を明確に分担する。
子どもスペース	<u>○スペースの増設</u> ・子ども用のスペースを増やしてほしい。 ・少し遊べるスペースもあるとよい。 <u>○利用環境</u> ・絵本館のように, くつろぎながら子どもと本を読めるように。 ・幼児・児童エリアは年代によって区分。
自習スペース	<u>○スペースの増設</u>

	・学生をはじめ、幅広い世代が利用できるように、広くゆったりとした自習スペースの充実を。 ・気軽に集いながら勉強できる場と、静かに勉強できる場を区分。 <u>○利用環境</u> ・自習スペースに仕切りがあるとよい。 ・飲食可能なスペースを。 ・オンライン予約ができると利便性が高まる。
会話・飲食	<u>○会話を楽しめる空間</u> ・会話を楽しめる空間がほしい。(再掲) <u>○カフェの併設</u> ・くつろげる素敵なカフェなどを併設してほしい。
駐車場	<u>○駐車台数</u> ・イベントなどの開催も考慮し、駐車スペース・台数を多く。 <u>○駐車場の利用環境</u> ・雨天時に、本が濡れないように駐車場からの屋根付き通路を。 ・子ども連れや沢山の本を持つての移動は大変であり、駐車場をすぐ近くに設置。ドライブスルーのような機能があると便利。 ・駐車料金は無料、若しくは時間割引があるとよい。

E)運営について

開館日・時間	<u>○開館時間の延長</u> ・夜間でなければ利用できない人や仕事帰りに利用できるように。 ・居場所や学ぶ場所がない子どもたちのために夜間の開館時間を長く。 <u>○休館日を変更</u> ・本館と南部図書館の休館日をずらしてほしい。(月曜日休館)
職員対応	<u>○専門性の向上</u> ・知りたいことが何でも相談でき、即対応してくれる司書の充実。 ・本やインターネットに詳しい職員の育成、配置。 <u>○接遇の向上</u> ・意識・接遇のレベルアップ。
管理運営	<u>○市民参画</u> ・運営に市民の意見や考えを反映。 <u>○民間活力</u> ・管理運営を民間に委託してはどうか。 ・カフェなどは民間がよいが、図書館部分は公的な機関で運営を。

F)整備・立地・交通アクセスについて

整備	<u>○まちづくり面</u> ・まちづくりのビジョンのもとに図書館が必要という考え方が必要。 ・10年先を考えた図書館づくりの構想を。また、時代の変化・ニーズに応じて変更できるようなものに。 ・中心部の商店街再生をめざして一体的な検討を行ってはどうか。 ・本館を拠点に、分館が多くあるのが理想。 <u>○コスト・管理運営面</u> ・シンプルな建物で維持管理費があまりかからない施設に。 ・運営コスト(採算性)を考えると新たな施設整備は不要ではないか。 <u>○複合化</u> ・新たに建設せず、既存の公共施設を活用してほしい。 ・他の公共施設との複合化を図っては。(例. 市民交流や展示機能, ミュージアム施設, 児童センターなど子育て関連施設, スポーツ施設, 公園など) ・周辺に商業施設があり楽しめる場所に。
立地・アクセス	<u>○立地環境</u> ・バスや電車の待ち時間, 学校・部活動の帰りに気軽に立ち寄れるように。 ・小松市内のどこからでも通いやすく, また, どの高校の生徒も隔たりなく通える場所に。 ・市外など遠くからも行きやすい場所に。 ・まちなかに行ってみようと思えるような場所に。 ・広々とした場所で, 駐車場も多く確保でき, 交通の便がよい環境。 ・自然が豊かなところである一方で, 自然環境を壊さないように。 ・現在利用している人のことも考慮してほしい。今の立地に満足しているので機能を増やしてほしい。 <u>○アクセス手段</u> ・自家用車が無くても利用できるよう, バスの便数の充実や巡回運行を。

G)その他

- ・未来型図書館と現在の図書館の違いを明確に。
- ・現在の図書館の利用者が少ない理由をしっかりと調査・分析することが先決。
- ・将来的な利用や整備によるメリット・デメリット等, 幅広い内容を市民に伝えてほしい。
- ・図書館を通して何をしたいか, 何ができるかという議論を期待したい。
- ・市民利用の目線, 観光的な視点によって, 図書館の内容や立地等が決まってくると思う。
- ・今後も講演会などに参加し, 情報を共有していきたい。